

震災から10年、ご支援への感謝をこめて

2011年発生の東日本大震災は、かつて経験のない津波や原発事故により被害をもたらしました。ミヤカンがある気仙沼市は、10mもの大津波に加え、石油タンクから流出した油に引火し大規模な火災が発生するなど甚大な被害を受けました。工場周辺にも複数の漁船が打ち上げられ、工場、事務所、倉庫、原料などのすべてを失い凄惨を極める状況となりました。

壊滅的な被害を受け事業再開は絶望的でしたが、復旧費用の補助が受けられる可能性が出てきたことや、気仙沼市長自ら熱望されたこと、得意先からも復興を期待する声が多数寄せられたことなどから、震災から4年後、親会社である清水食品や鈴与グループの支援を受け、2015年4月に新たに水産加工の集積地として整備された鹿折地区の復旧事業第一号として竣工し再開致しました。



災害直後の工場従業員室



災害直後の工場入り口（荷さばき場）



現在の工場（充填室）



現在の工場入口

3月11日は、震災から10年の節目を迎えます。今までご支援いただきましたお取引先さま、お客さま、地元気仙沼市の皆さま、従業員の皆さまには大変感謝いたし厚くお礼申し上げます。

事業再開当時、

「ミヤカンの復興が東北や気仙沼の復興に繋がる」

「ミヤカンが復興することで、気仙沼の皆さんを勇気づけられる」

という熱い思いで再開できた事は、従業員の一致団結から成し得たと思います。

大きな犠牲の上に得られた熱い思い、強い意志、感謝の気持ちを絶やすことなく、引き続き三陸の環境を活かしたものづくりでお客さまの要求に応え得る企業を目指して参ります。

2021年3月
株式会社ミヤカン
代表取締役社長 福島 庸夫